

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第2回社会教育委員会議
開催日時	令和2年11月24日(火) 午後3時30分～午後4時45分
開催場所	所沢市役所 6階 604会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 今期の審議計画(案) (2) その他
会 議 資 料	資料1: 今期の審議計画(案) 資料2: 所沢市郷土資料等収蔵施設整備検討について その他資料: 8月からの新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応
担 当 部 課 名	教育長 大岩 幹夫、教育総務部長 千葉 裕之、教育総務次長 市川 雅美、文化財保護担当参事兼文化財保護課長事務取扱 肥沼 位昌、生涯学習推進センター所長 酒井 忠夫、スポーツ振興課長 廣谷 貴紀 教育総務部社会教育課 社会教育課長 稲田 里織、主査 金田 俊一、主査 守野 豊、主任 高橋 幸大、主任 竹迫 祐亮 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

所沢市社会教育委員会議出欠一覧

令和2年11月24日（火）午後3時30分から 市役所604会議室

選出根拠※	氏名	備考	出欠席
学校教育 関係者	いしい のぶあき 石井 伸明	所沢市立小中学校校長会 (美原小学校校長)	出
学校教育 関係者	いしみね ゆうだい 石 嶺 雄大	所沢市幼児教育振興協議会 (美原幼稚園 園長)	出
社会教育 関係者	かとう いちお 加藤 市男	所沢市公民館運営審議会 民生・児童委員	出
社会教育 関係者	なんば ひろゆき 難波 裕之	所沢子どもルネサンス実行委員 会	出
社会教育 関係者	たけうち さとこ 竹内 聡子	所沢市スカウト協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団)	出
社会教育・ 家庭教育 関係者	はりゆう きよみ 針生 清美	柳瀬小学校図書ボランティア代表 柳瀬公民館保育スタッフ 柳瀬荘黄林閣(国重要文化財)管理 人	出
社会教育 関係者	おざわ さだやす 小沢 貞泰	(元)北秋津小学校区 心豊かな子どもを育てる学校と地域づくり連絡会議 北秋津ネット 議長	出
社会教育 関係者	こまつ ふみこ 小松 扶美子	所沢市連合婦人会 会長	出
社会教育・ 家庭教育 関係者	ふじまき ゆう 藤巻 裕	所沢市PTA連合会 会長	出
社会教育・ 家庭教育 関係者	こばやし ひでこ 小林 ヒデ子	民生・児童委員 人権擁護委員	出
社会教育 関係者	すどう とくこ 須藤 とく子	人権擁護委員 (元市内小学校長)	出
学識経験者	いとう あきよし 伊藤 明芳	秋草学園短期大学 地域保育学科准教授	出
学識経験者	おおぎはら あつし 扇 原 淳	早稲田大学人間科学学術院 教授	出
学識経験者	たなべ しんいち 田部 真一	元市内小学校長	出
学識経験者	はやし こういち 林 宏一	所沢市文化財保護委員会委員 長 さいたま市岩槻人形博物館館長	出

※選出根拠＝所沢市社会教育委員条例第2条

令和2年9月1日
現在

<p>社会教育課長</p>	<p>前任期において、所沢市の社会教育施設の在り方について意見をいただく中で、郷土資料の保存や活用について多くの意見をいただき、施設見学や意見交換を行ってきたことなどから、今任期では、郷土資料の保存・活用をメインに審議を進めたいと考えている。今任期全体で計6回の会議を予定している。郷土資料に関する審議については、この後、文化財保護課から説明があるが、教育委員会では、所沢市議会市民文教常任委員会からの「今後の文化財保護のあり方に関する提言」（平成28年5月）などを受けて、郷土資料等の収蔵施設整備検討を進めている。文化財保護課では、令和4年度以降に外部有識者での整備計画策定委員会の設置を予定しており、社会教育委員会議では、委員の様々な立場からの視点で、郷土資料の保存・活用に関する意見をいただき、審議のまとめを教育委員会に示して、外部有識者で組織予定の整備計画策定委員会に社会教育委員の意見が反映されるように進めていきたいと考えている。</p> <p>なお、議事資料1の審議計画（案）は、今任期の全体像を確認し審議を開始するために作成したものであり、審議の過程で必要性が生じたものなどを随時加えながら、委員の所沢市の郷土資料の保存・活用について考えていきたい。</p>
<p>文化財保護担当 参事</p>	<p>文化財保護課では、郷土資料等の収蔵施設整備検討について、『第6次所沢市総合計画』をふまえ検討に取り組んでいる。</p> <p>議事資料2の2枚目「今後の文化財保護のあり方に関する提言」のその3で「文化財を一元管理していくための検討をおこない、博物館構想についてもこれまでの経緯を踏まえながら検討すること」と提言をいただいた。今年1月に、課長級職員による庁内検討調整会議及びその下部組織として若手職員によるワーキンググループを設置し、第1回会議を合同会議として開催した。今年度に入り、ワーキンググループのメンバーに対して、文化財保護課が個別ヒアリングを行い、意見の聞き取りや意見交換を行った。このことは、お互いの考え方を相互に理解する良い機会となった。収蔵施設の整備について正面から反対するような意見はなかったが、公共施設の総合的な管理や財政面から、その整備の困難さを指摘する意見があった。文化財保護課からは、郷土資料を適切に収蔵し、将来に伝えていく意義についての理解を得られるように努めた。</p> <p>今後は、11月27日にワーキンググループを開催するとともに、市政70周年記念の展示を見学し、郷土資料の保存や公開の意義について考えてもらうきっかけにしたいと考えている。さらに、来年の2月頃には、第2回の課長級職員による検討調整会議を開催することを予定している。</p> <p>令和3年4月には、文化財保護課と生涯学習推進センターふるさと研究グループの組織統合が予定されているが、庁内検討を進めることに併行し、郷土資料の一元管理を実務的に進め、収蔵施設検討のためにも郷土資料の整理とともに、そのデータ整理を進めていきたいと考えている。また、引き続き庁内検討</p>

	<p>調整会議とワーキンググループを通じ、庁内の収蔵施設整備に対する機運を高めていくことに継続的に取り組むとともに、外部有識者による整備計画策定委員会の設置についても検討を行いたいと考えている。整備計画策定委員会については、令和4年度以降に設置を予定している。</p>
議長	<p>それでは、今期の審議計画（案）について、委員の質問・意見を伺いたい。</p>
社会教育課長	<p>補足として、2月に開催予定の会議では、郷土資料等の収蔵施設整備検討について、もう少し踏み込んだ内容を報告してもらう予定でいる。</p>
議長	<p>資料2の2枚目「今後の文化財保護のあり方に関する提言」の7番に、今まで以上に専門的な知識を有する人材の育成及び、県や他市との交流を検討することとあり、人材育成に力を入れるという事は重要と考える。資料を整理することだけでは足りないと感じる。この点が今後の予定にどのように具現化されるのか次回以降事務局説明の中に入れてほしい。</p>
委員	<p>収蔵施設の検討の具体的なスケジュールを見ると、時間的にもっとスピードを持って進めた方が良いと感じる。財政的にも厳しく大変と思うが、これまでの文化財保護行政の成果をスピーディーに何らかの形で整備することを進めてもらいたい。この社会教育委員会議での提言のとりまとめにも期待したい。</p>
議長	<p>文化財収蔵施設の整備を早く進めてもらいたいということか。</p>
委員	<p>そのとおりである。令和4年度以降の整備計画策定委員会で具体的な構想が練られていくように思う。はたしてこれで良いのかという懸念はある。</p>
文化財保護担当参事	<p>以前から収蔵施設や博物館構想について庁内でも検討をしていたが、結果には結びつかなかった。以前の庁内での会議では、博物館は不要という根強い意見があり、庁内的な意見集約が難しい状況であったと聞いている。</p> <p>現在は、庁内の意思統一、意見調整を図り、機運を高めるように取り組んでいる。先日、庁内検討委員のヒアリングを行なったところ、極端な反対意見はなく、大きな方向性としては収蔵施設を整備する方向で進むと感じている。</p> <p>引き続き、庁内の意見調整を図り、足元を固めて進めていきたい。</p>
議長	<p>前向きな姿勢ということと考える。</p>

委員	<p>庁内のコンセンサスを取るのには時間がかかり、思い切った動きをしない限りはビジョンを達成するのは難しいと思う。検討をお願いしたい。</p>
議長	<p>このテーマを社会教育委員会議で取り扱うということは、事務局側としてどうにか収蔵施設の整備を進めていきたいと考えていることは伝わってくる。</p>
社会教育課長	<p>市の財政状況等もあり行政の内部でも意見は分かれるところであるが、所沢市の資料を後世に伝えていく責務が市にはあると思う。行政の関係各課が自分事として考えられるように様々な視点から検討していきたい。</p> <p>社会教育委員会議には、様々な立場の委員がいるので、それぞれの委員の視点で考えてもらい、議論をお願いしたい。この2年間でまとめたものが収蔵施設整備計画の追い風となり、スピードを持って進められればと考えている。ご協力をお願いしたい。</p>
議長	<p>そのような気持ちをもって、社会教育委員会議でも審議していきたい。</p>
委員	<p>今まで集めた郷土資料やデータを活用していくということか、それとも足りない郷土資料を収集していくのかイメージがわからない。</p>
文化財保護担当 参事	<p>文化財保護課と生涯学習推進センターふるさと研究グループで別々に資料を整理・保存していること、未整理の資料があることが課題である。一元的に管理するように進めていきたいと考えている。</p> <p>資料は集まるが収蔵場所に困っている現状もあり、資料の収蔵スペースをどうするかも大きな課題であるとともに、資料を整理して市民の方々に郷土への理解を深めるために展示して有効に活用することも課題である。幅広い課題に対して一歩ずつ確実に対応を進めていきたい。</p>
議長	<p>今任期のゴールをどうしたらよいかと考えている。現時点では、曖昧模糊としているが、収蔵施設整備に対する機運を高めるために社会教育委員が後押しをする役割があると考える。</p>
委員	<p>北野にある埋蔵文化財調査センターをよく利用していた。埋蔵文化財調査センターに行くとも埋蔵文化財についての所沢の歴史がわかるようになってきている。今回の収蔵施設整備では、埋蔵文化財調査センターを活用できないのか。埋蔵文化財調査センターでの一元管理は考えているのか。</p>

文化財保護担当 参事	埋蔵文化財調査センターは、所沢市の郷土資料でも発掘した土器などの埋蔵文化財を保全する中核的な施設である。他に所沢市内には3つの民俗資料館があり、所沢市の特徴としては、地域に分散して資料を保存していることがある。そのような施設の将来像も含め、子ども達や市民にとって望ましい施設はどのようなものか検討を進めたいと考えている。
議長	このことは、令和4年度以降に予定されている策定委員会で検討するのか。
文化財保護担当 参事	そのとおりである。収蔵施設の位置づけとしては社会教育施設であるので、この社会教育委員会議で意見をいただくのも重要であると考えている。
議長	何をどのようにしていくかは整備計画策定委員会で専門分野の方が調整するものとする。この社会教育委員会議では、整備計画策定委員会の前に様々な意見を出すものとする。
委員	<p>議事資料2の提言に「8. 本提言を教育委員会会議および文化財保護委員会へ報告すること」とあり、社会教育委員会議の資料としてこの提言があることから社会教育委員会議への期待の大きさを感じている。</p> <p>北秋津ネットに関わっていた時に、県の補助金を活用し、地域の歴史物語「北秋津のうつりかわり」を、子ども達にこの地域の歴史や生活に身近な歴史をきちんと伝えていきたいとの思いを持ってリメイクした。この当時の新聞記事に「自分たちの町をよくしていこうとの機運が盛り上がると、必ず始まるのが歴史の掘り起こしだそう」と掲載されていたことが強く印象に残っている。</p> <p>収蔵施設を作るにあたって、自分達が住んでいる街を良くしたいとの思いや将来市民が手に取って合点がいくようなものを残していくことを視点に、考えていければ良いのではないかと。</p>
委員	<p>先ほどの委員の意見は、その通りであり、この会議で検討する1つの方向性であると思う。</p> <p>郷土資料がどういうものかあいまいな委員もいると思う。郷土資料がどのようなものか、文化財はどのような位置づけなのかを、事務局できちんと伝えてほしい。委員が理解しないと課題の検討は始まらない。</p> <p>郷土資料を保存して活用していくための最終目標としては、所沢市民のこの街に住んで良かったという喜びとアイデンティティを作り上げて普及していくことが基本であるとする。このことを1つの目標として社会教育委員会議で議論を進めてもらえればと思う。</p>

<p>委員</p>	<p>民俗資料館の活用について、市内に民俗資料館が3館あるが、民俗資料館の開館日と閉館日は市民の方にはわからないと感じる。それについての活用と宣伝の方法について教えてほしい。</p> <p>また、宮前小学校には脱穀機等の民俗郷土資料が展示されている。学校の空き教室での保管は、児童生徒たちの手の届くところに郷土資料が存在することになり郷土愛を育むことにつながると思うが、そのようなことは考えていないか。</p>
<p>文化財保護担当 参事</p>	<p>民俗資料館の開館日は不定期であるが、翔びたつひろばやホームページでお知らせをしている。開館日が少ないことは課題である。</p> <p>小中学校で民俗資料を保管していないところもあるが、学校として管理が難しいという面がある。地元の方々が関わる学校もあるが、高齢化等で対応が難しいという声も聞く。子どもが身近に郷土資料に触れる場があることは価値があると思う。庁内検討調整会議で学校教育課も入っていて将来的にどのような形が望ましいか検討をしていきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>委員の意見から方向性が少し見えてきたと感じる。教育委員会としてどの程度の青写真があるかも含め事務局で検討し、次回以降の会議をお願いしたい。</p> <p>【5 議事】（2）その他 新型コロナウイルス感染症に対応した社会教育事業の報告等 《事務局より報告事項資料に沿って説明が行われた。》 特に意見無し</p> <p>《議事については以上で終了し、以下は議長に代わり、事務局が進行した》</p> <p>【4 その他】事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小沢委員から、「令和2年度入間地区生涯学習フォーラム」について説明があった。 ・生涯学習推進センターから「ところざわ歴史物語」の発行について説明があった。 ・社会教育課から「令和2年度成人のつどい」について説明があった。 <p>【5 閉会】 《議長のあいさつ後、閉会となる。》</p> <p style="text-align: right;">《以上で終了》</p>